



THE ODENSE STATEMENT

OUR ABC FOR EQUITY, EDUCATION AND HEALTH

オーデンセ声明

平等、教育、健康のための ABC

第4回 ヘルス・プロモーティング・スクールヨーロッパ会議
平等、教育、健康

2013年10月7日,8日,9日



オーデンセ声明 平等、教育、健康のための ABC

オーデンセ声明— 平等、教育、健康のための ABC

この声明は第4回ヘルス・プロモーティング・スクールヨーロッパ会議（2013年10月7-9日 デンマーク オーデンセ市）で作成された。4か国から参加した若者達の意見が含まれている。

A. 理念、価値観、目的、目標を堅持する

1. ヘルス・プロモーティング・スクールはヨーロッパの人々の健康とウェルビーイングの改善に貢献する。学校は子どもや若者達の健康に関連する能力開発やより良いライフスタイルの獲得のための最適な場を提供する。
2. ヨーロッパの学校環境における健康とウェルビーイングを高めるための基本的価値観と理念を以下に示し、再確認する。

Schools for Health in Europe (SHE) の基本的価値観
<p>平等：すべての人々が教育を受け、健康を手に入れる平等な機会を有する。</p> <p>持続可能性：長い間にわたる組織的な方法による活動とプログラムによって健康、教育、発達は繋がっている。</p> <p>インクルージョン：多様性が素晴らしいものとされる。すなわち学校はすべての人々が信頼され尊重されていると感じる学習コミュニティである。</p> <p>エンパワメント：学校というコミュニティのすべての構成員が積極的に参画する。</p> <p>民主主義：ヘルス・プロモーティング・スクールは民主主義の原則に基づいている。</p>
SHE の柱 (要点)
<p>健康に関する全校的アプローチ：クラスでの健康教育は、学校政策の展開、学校環境の向上、生活能力の改善、および全校的な関与を伴いながら行うこと。</p> <p>参画：児童生徒等、教職員、保護者が当事者意識をもっていること。</p> <p>学校の質：健康な児童生徒等がよりよく学び、健康な教職員がよりよく働くことによって、ヘルス・プロモーティング・スクールはよりよい教育・学習プロセスと成果をもたらす。</p> <p>エビデンス：既存および新しい研究を基盤として新しいアプローチと実践は開発される。</p> <p>学校とコミュニティ：学校はコミュニティ・デベロップメントの活動拠点と見なされる。</p>

3. ヘルス・プロモーティング・スクールは、ヨーロッパ地域の国々がヨーロッパにおける健康とウェルビーイングのための WHO 政策の枠組みである「健康2020」およびインクルーシブで持続可能な発展を目指す「EU2020戦略」の目的や目標の達成に貢献する。
4. ヘルス・プロモーティング・スクールは「WHO ヘルシンキ宣言 2013」に含まれている「全ての政策に健康の視点を」のアプローチの重要な要素である。



オーデンセ声明 平等、教育、健康のための ABC

5. 「ヘルス・プロモーション・スクールに関するビリュニス決議文（2009）」が出されて以降、ほとんどのヨーロッパの国々や地域では経済、社会などの環境が大きく変化してきている。私達はこれらの変化とさらなる発展の必要性を認め、現在そして未来の世代の社会的要求に応えようとする中でヘルス・プロモーション・スクールのプロセスと関与を改善する。
6. 私達は関係するすべての人びと、特に教育、子どもと社会の関連分野において多面的な利益を明らかにすることの重要性を再確認する。
7. ヘルス・プロモーション・スクールは学校の主要な目標の達成に貢献する。つまり、明確な基準と少ない中退者数を伴う良い教育を提供する。
8. それゆえに、私達は今後 2014 年から 2020 年にかけてヘルス・プロモーション・スクールがさらに発展し実現できるように現実的な価値のある研究、方策、ネットワーク、プロセス、スキルを普及し、強化することを再決意する。

若者からの声：「健康って何だろう？」

- ・それは単に運動と健康的な食事ということ以上のこと。
- ・心と体のバランスの良い時のこと。
- ・ポジティブであること。」

B. ヘルス・プロモーション・スクールは有益である

ヘルス・プロモーション・スクールは次の事を提供する。

1. ヨーロッパ地域における「全ての政策に健康の視点を」を支持する、教育と保健の具体的かつ十分な評価を得た効果的な連携の良い例である。
2. 他の健康やウェルビーイングの計画と関連するような状況を生み出す。
3. 学校、児童生徒等、教職員に健康的な選択を容易にさせる機会を与える。
4. 持続可能性すなわち、人々の健康は社会や地球規模の環境保健とともにあるということに教育は貢献する基盤となる。
5. 学校をヘルス・プロモーション・ワークプレイス（職場）にすることによって、教員の健康とウェルビーイングを改善する。
6. 身体的、精神的、社会的、スピリチュアルなウェルビーイングを含んだ健康に関する前向きで幅広い視野を与える。
7. コミュニティ・デベロップメントにおける学校の役割を活性化させる。
8. 児童生徒等の健康、ウェルビーイング、学習と能力開発を向上させる。
9. 児童生徒等の健康に関する知識、技術、行動能力の向上に貢献出来るような、包括的なアプローチを提供する。



オーデンセ声明 平等、教育、健康のための ABC

10. 保護者とコミュニティの参加を促し協働することでプログラムと活動がより継続的に行われる。
11. 学校保健の推進における学校保健に関するサービスとの連携を強化する。
12. 以下の健康に関連するトピックスに対する統合的、全校的アプローチを提供する。
 - ・いじめと暴力の減少
 - ・メンタル・ヘルス・プロモーション
 - ・性の健康、性の権利と責任
 - ・健康的な食事と運動
 - ・問題解決と葛藤の軽減
 - ・ヘルスリテラシー

若者からの声：「理想的なヘルス・プロモーション・スクールになるために必要なことは

- ・児童生徒等のやる気を起こさせ、快く受け入れるということ。
- ・新鮮な空気と屋外活動のための良い条件が揃っていること。
- ・児童生徒のメンタルヘルスにもっと配慮すること。」

C. 今後のさらなる発展のために求めること

ヘルス・プロモーション・スクール運動のさらなる発展は、かなりの部分はソーシャルメディアを含む、出来る限りの範囲の方法を通して、中核となるステークホルダー、より幅広い市民との効果的な意思疎通を図れるかどうかによって決定される。従って、ヘルス・プロモーション・スクールのメリットを明確に伝えることと禁煙運動団体などの各種支援運動と協力することを推進していく。

ヘルス・プロモーション・スクールの利点を高められるように各キープレイヤーに対して以下のような行動を要望したい。

学校に対しての要望

- ・身体的健康のみならず、メンタルヘルス、ウェルビーイングを含んだポジティブな健康の全ての面に焦点を当てること。
- ・ヘルス・プロモーション・スクールアプローチを通じて学校を発展させていくこと。
- ・ヘルス・プロモーション・スクールとしての管理とリーダーシップの変革に焦点を当てること。
- ・管理組織や教育委員会に児童生徒等と教職員の健康とウェルビーイングをリードするように要望すること。
- ・ヘルス・プロモーション・スクールの理念を実践に生かすこと。



オーデンセ声明 平等、教育、健康のための ABC

- ・学校、保護者、コミュニティ、ヘルスサービス間のコミュニケーションを取り、共に行動することに焦点を当てること。

決定権者と政策策定者への要望

- ・「全ての政策に健康の視点を」をヨーロッパ、国家、地域、地方のレベルで実現を目指す中でヘルス・プロモーション・スクールアプローチを用いること。
- ・学校での健康とウェルビーイングの向上のためにトップダウン及びボトムアップアプローチを組み合わせること。
- ・教育と健康の政策は一方だけでは機能しないと認識し、統合すること。
- ・最高に教育された世代をつくるという信念をもつ先見性のある指導力を発揮していくこと。
- ・脆弱性のある子どものソーシャルインクルージョンに焦点を当てること。

研究と評価機関への要望

- ・健康と教育の資金を用いて学校における健康とウェルビーイングの概念、経験的な研究と評価、そして実行に焦点を当て、スクールヘルスプロモーションのための研究を共同で遂行すること。
- ・活動を促進するエビデンスは改善されてきており、それに基づくこと。
- ・リテラシー、シチズンシップ、協働スキルのような領域で教育指標の中に健康やウェルビーイングの指標を統合すること。
- ・健康分野と教育分野間、また他の分野との協働を促進するために最も良い仕組みを明らかにすることに焦点を当てること。
- ・ヘルス・プロモーション・スクール研究の構想とマッピングにおいて、不可欠なステークホルダーの関与を良く考えること。

国、地方、地域での実行責任者への要望

- ・地方自治体と地域の実行責任者がヘルス・プロモーション・スクールの発展と実施を成功に導く極めて重要な役割をもっていることを認識すること。
- ・ヘルス・プロモーション・スクールがコミュニティ・デベロップメントに貢献することを認識すること。
- ・教師や教師以外の職員を含めた全教職員と学校経営者の能力開発に投資すること。
- ・就学前学校、学校、職場を通じ統合された健康とウェルビーイングに関するライフコースアプローチに焦点を当てること。

第3セクター、市民社会、私的セクターへの要望

- ・学校とコミュニティを関連づけて働くこと。



オーデンセ声明 平等、教育、健康のための ABC

- ・ヘルス・プロモーション・スクールに対して組織的なアプローチを適用すること。
- ・関与の重要性が増すことと同時に「提供者が疲労するということ」と永久ではないという危険性をも認識しておくこと。
- ・ソーシャルキャピタルに投資すること。
- ・公私のパートナーシップを刷新するような先取りした思考をすること。

若者からの声:「健康の行動能力の意味は、私たちが

- ・すべての児童生徒が最初から健康的であるような行動が習慣化するよう学校管理に働きかけること。
- ・学校のリーダーに時間を与え、健康課題に影響を与えるよう働きかけること。
- ・大改革を試みるのではなく、小さな変化を進めること。
- ・お互いが健康になるように働きかけること。」

この「オーデンセ声明 平等、教育、健康のための ABC」は公式日本語版です。

翻訳は岡田加奈子（千葉大学）、吉田由美（目白大学）、籠谷恵（東海大学）、齊藤理砂子（聖学院大学）、佐久間浩美（了徳寺大学）が担当致しました。 翻訳日：2014年8月

原文の声明（英語）とこの日本語版は下記の Schools for Health in Europe (SHE) のホームページに掲載されております。

<http://www.schools-for-health.eu/pages-resources/conference-statements-additional-information/read-more-odense-statement>